

大学開学55周年を迎えて

3学部の「いま」と「これから」



(写真左より) 新垣 繁秀 経済学部長、一橋 信之 副学長、石田 優子 学長、糠谷 英輝 経営学部長、北野 尚人 メディアビジネス学部長

広島経済大学
報

発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号 (082) 871-1000(代)
オフィシャルサイト <https://www.hue.ac.jp>

2面	2021年度 興動館教育プログラムを振り返る
3面	2021年度 進路 就職支援を振り返る
4面	2021(令和3)年度 学位記授与式 挙行
5面	私はこれに熱中した!!
6面	2022年度 入学試験結果

昨年度、私が学長に、一橋教授が副学長に選任され、新体制が始動しました。新しい風を吹かせ、前途洋々、晴れやかな船出とする夢を描いていました。が、世界は新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に直面しており、大学も「教育内容」「教育方法」「学生支援」など全ての面

広島経済大学の第5代目の学長に就任され、1年がたちました

ありがとうございます。収容定員600名の小さな大学からスタートし、現在は3400名の学生が学ぶ大学に発展しました。卒業生も3万8千名を超え、各地で活躍しています。もちろん、私は開学当時のことは全く知らないわけですが、多くの困難を乗り越え、今日の目を創ってこられた先人の方々には感謝の思いしかありません。

大学開学55周年、おめでとうございます

1967年に開学した本学は、今年55周年の記念すべき年を迎えた。同時に2019年に認可を受けた3学部体制も、1年次から4年次生までの全学生がそろって完成年度を迎え、次の時代を見据えたさらなる教育改革に取り組んでいる。改革の先頭に立つ石田優子学長に、教育改革の「いま」と「これから」について聞いた。

●経営学部について
本学の経営学部経営学科の強みは、なんと言っても多様な背景を持つ教員組織にあると思います。研究による学識を備えたアカデミ

●経済学部について
日本の大学の経済学部といえば、これまで理論中心の教育が一般的でした。そのなかで本学ではいち早く、教室での学びにとどまらず、実践による学びや人間力の養成にも力を注いできました。地域社会や多くの企業にも協力していたDGSについての研究会や、地域経済研究のフィールドワークなどに取り組み、若者の視点から斬新な提言を行ってきました。これらの多くは、地域の人たちから高い評価をいただき、そのことがまた学生たちの学習意欲を高めるという効果を生んでいます。新垣学部長をはじめ各学科の教員が「ここにしかない経済学部を作る」を合言葉に改革に取り組んでいることは心強い限りです。

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

●メディアビジネス学部について
メディアビジネス学部もユニークな学部です。現代のビジネス最前線は、人工知能(AI)等のコンピュータ技術を駆使して「情報」をビジネスに活かすスキル

2021年度 興動館 教育プログラムを 振り返る

Education program

広島菜漬の名店「山豊」で、 学生制作のPRチラシが採用

「私たちの広島」PR実践



店舗を訪れ取材を重ねる奥本さん

興動館科目「私たちの広島」PR実践」では、初めて広島菜漬があまり知られていないことに気がつき、実際に完成したものを活用して、フィードバックを通して、感性を磨き、企画力と発想力を身につけることを目的として、パンフレットやチラシの制作を行っている。

今回、「広島菜漬をPRしたい」と飛び込みで取材交渉にあたった学生に対し、その成果物を「実際に商品PRに使用させてほしい」と株式会社山豊からお声掛けをいただいたことがきっかけとなり、制作したチラシが商品PRに活用されることになった。

チラシ制作に取り組んだ奥本有哉さん(取材当時、経営学科2年・広島県・広島高校出身)は「私たちの成長に目を細めた。」

祇園からSDGsの 活動を広げよう

「祇園から食品ロスなくSDGsプロジェクト」



勉強会の様子

2021年10月に入門プロジェクト「祇園から食品ロスなくSDGsプロジェクト」がスタートした。世界的に取り組まれているSDGsの17項目

「子ども達を守るプロジェクト」では、地域の小学校と連携した防犯活動・防犯意識向上の啓発活動に取り組んできた。コロナ禍の影響で活動自粛を余儀なくされていたが、昨年11月により活動再開した。

子どもたちの笑顔のために

「子ども達を守るプロジェクト」



「ケイダイジャー」による演劇の一幕

「子ども達を守るプロジェクト」では、地域の小学校と連携した防犯活動・防犯意識向上の啓発活動に取り組んできた。コロナ禍の影響で活動自粛を余儀なくされていたが、昨年11月により活動再開した。

「子ども達を守るプロジェクト」では、地域の小学校と連携した防犯活動・防犯意識向上の啓発活動に取り組んできた。コロナ禍の影響で活動自粛を余儀なくされていたが、昨年11月により活動再開した。

インドネシアとの絆を 次の世代につなぐために

「インドネシア国際貢献プロジェクト」



オンラインで行われた交流会

「インドネシア国際貢献プロジェクト」が昨年11月から「英会話講習会」を始めた。教養教育部のRichard A. Forrest 講師が指導し、学んだ英語を渡航した際に活かせるように、現地での活動を題材にロールプレイング形式で学びを深めている。

「インドネシア国際貢献プロジェクト」が昨年11月から「英会話講習会」を始めた。教養教育部のRichard A. Forrest 講師が指導し、学んだ英語を渡航した際に活かせるように、現地での活動を題材にロールプレイング形式で学びを深めている。

随想

長年、国際教育交流の仕事に携わっていると忘れられない経験もたくさんある。ここで思い出に残る話を一つ紹介したい。

毎年、ヨーロッパの提携校からたくさんの交換留学生が本学にやってくる。日本の文化や先端技術に興味を持ち日本留学を決めたS君のことは、忘れられない。半年間の短い期間であったが、休日になると、日本文化を体験し、と嬉しそうに話していた。

国際交流の軌跡

教養教育部/国際教育交流センター長
ジョージ・R・ハラダ 教授

全国の科学館やロボット・ナノ技術等の展示会を見学に行っていた。忘れられない6か月間の日本留学を終え、ドイツに帰国したS君は、就職し、数年後には独立し、ナノテクノロジーを使って自動車産業に必要な部品を製造する会社を設立した。彼の話によると、小さな会社であったが特殊な部品を製造していたので、需要が多く朝から晩まで働きづめで、家族と触れ合う暇もなかったそうだ。経済的には裕福になったものの、家庭は崩壊し、離婚した。さらに、悪いことは重なり、脳腫瘍が見つかり、医師から余命を告げられた。その後、会社を売却し、残りの人生を子供たちと過ごすという決断、自分の人生で一番思い深い場所に子供たちを連れて行くことを考えた。

(日本国憲法11 現代社会と人権
Japanese Law & Society, Stepping
Out into the Wider World ほか)

昨年12月23日、明徳館7階にて、就職活動に向けた意識づくりを支援することを目的とした「女子学生のためのキャリアデザイン研究会」を開催。第1部では就職活動を終えた4年次生3名を招いて、就職活動の様子や内定をもらったポイントなどを中心に体験談の講話があり、第2部のグループワークでは、各テーブルに分かれ先輩を囲んで、より具体的な話を聞いた。

また、2月3日、明徳館10階にて、「ヘア・メイク講座」を開催。この講座では、毎年「IAAインターナショナルエアアカデミー広島校」から講師をお迎えし、就職活動時に好印象を与えるメイクについて教えていただいている。今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、2回に分かれて少人数制で開催。講座ではベースメイクから始まり、眉の描き方、マスカラの使い方のコツ、口紅の塗り方などのポイントメイクや、清潔感を与える髪型や笑顔の重要さなどの指導を受けた。また、オンライン面接でのメイクのポイントやマナーについてもアドバイスをいただいた。

どちらのイベントも参加学生たちの満足度は高く、女子学生ならではの悩みや不安が解消されたようだ。学生たちの本格的な就職活動がスタートする。

清潔感を与えるヘアスタイルを実践する学生たち

2021(令和3)年度 学位記授与式挙行

保護者らが見守るなか、
657名が晴れの巣立ち



卒業生を代表して答辞を述べる高田香さん

3月18日、本学石田記念体育館において、2021(令和3)年度学校法人石田学園広島経済大学学位記授与式が、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで挙行された。

経済学科267名、経営学

学長式辞要旨

御卒業おめでとう。皆さんは、本学での学びと経験を通して、「ゼロから立ち上げる」興動人を目指し、たくましく成長されました。明日からは、身につけた力を活かし、社会に貢献する人生が始まるわけで、期待に胸を膨らませていくことと思います。

しかしながら、皆さんを待ち受ける社会は決してやさしいとは言えず、むしろ大変厳しい状況です。さらに今、「国家間の問題は法に照らして平和的解決をはかる」とする国際システムを揺るがす争いが発生し、多くの人々が苦しみ、世界経済も混乱しています。争いは絶対に、避けねばなりません。そのためには、同じ考えを強要せず、寛容さをもって違いを受け止め、互いにとって最良の道を、ともに模索せねばなりません。

さ在建学の理念「和を以て貴しと成す」の精神です。この教を忘れず、これからも研鑽を積み、次代を築く人材として社会に貢献されることを願っています。

旅立ちの門出に当たり、私が心の支えにしている言葉を贈ります。「私が幸せにするのは私」です。「誰かが幸せにしてくれるのを待たない。道は私が選んでいく。だって、私の人生なのだから」。一度きりの、かけがえのない人生です。自分らしく、自由に、挑戦していきってください。

皆さんの学園生活が、思い出深く有意義なものであったことを願うと同時に、本学の卒業生としての誇りを胸に、実社会で活躍されることを、教職員一同、心より期待いたします。おめでとう。

巣立ちの言葉

～学びと経験、すべてに感謝を込めて～

広島経済大学には、自分を成長させるチャンスがたくさんあり、学生の意欲を全力で応援してくれる先生がいます。私はそのチャンスを活かして、プロジェクト活動や海外留学などさまざまなことに挑戦し、行動力や英語力に自信を持てるようになりました。

とも言える経験は、2年次に参加したニュージールランド短期語学留学です。現地では、授業以外でもホームステイ先で勉強していました。英語力に長けた中国人のルームメイトと話すなかで、英語がでない自分の実力を思い知らされました。そのときの悔しさが、その後も英語を学び続ける原動力になりました。

大学の公務員養成講座を受講し、仲間と励まし合って学べたことで、消防士になる夢を叶えることができました。

ただいた言葉に勇気をもらえたからです。「消防士＝男性」というイメージが強く、体力的に男性に劣ってしまう女性が消防士としてやっていけるのかという不安もありましたが、実際に女性の消防隊員の方にお話を聞き、女性が活躍できる場面がたくさんあることを知ることができたことも夢を諦めずに頑張る力になりました。

ものの、公務員試験に向けて勉強を始めたのは3年次の春でした。約半年間、独学で勉強しましたが手応えを掴むことができなかったため、3年次の秋から大学の公務員養成講座に参加しました。遅いスタートでしたが、先生や先輩方に手厚くサポートしていただけたことや、キャリアセンターから試験の日程や公務員採用情報などを随時提供してもらえたことも心強く、安心して試験対策を進めることができました。

特に印象に残っているのは「公務員試験直前対策合宿」です。この合宿で、問題を話し合ったり進捗状況を確認し合うなど、競い合い、高め合える最高の仲間と出会うことができました。コロナ禍のため日帰りの開催になりましたが、試験本番に向けてみんなで士気を高めることができ、面接練習でももらったアドバイスは試験本番でも役立ちました。仲間がいたから最後まで

で目標を見失うことなく頑張ることができたのだと思います。

卒業後は、地域の安全をしっかりと支える地域密着型の消防士になりたいと思っています。体が資本の消防士として健康を維持していくためにも、スポーツ経営学科で学んだスポーツ医学や生理学、スポーツ栄養学などを日々の暮らしと仕事に活かしていきたいと思っています。



ともいえる経験は、2年次に参加したニュージールランド短期語学留学です。現地では、授業以外でもホームステイ先で勉強していました。英語力に長けた中国人のルームメイトと話すなかで、英語がでない自分の実力を思い知らされました。そのときの悔しさが、その後も英語を学び続ける原動力になりました。

大学の公務員養成講座を受講し、仲間と励まし合って学べたことで、消防士になる夢を叶えることができました。

ただいた言葉に勇気をもらえたからです。「消防士＝男性」というイメージが強く、体力的に男性に劣ってしまう女性が消防士としてやっていけるのかという不安もありましたが、実際に女性の消防隊員の方にお話を聞き、女性が活躍できる場面がたくさんあることを知ることができたことも夢を諦めずに頑張る力になりました。

ものの、公務員試験に向けて勉強を始めたのは3年次の春でした。約半年間、独学で勉強しましたが手応えを掴むことができなかったため、3年次の秋から大学の公務員養成講座に参加しました。遅いスタートでしたが、先生や先輩方に手厚くサポートしていただけたことや、キャリアセンターから試験の日程や公務員採用情報などを随時提供してもらえたことも心強く、安心して試験対策を進めることができました。

特に印象に残っているのは「公務員試験直前対策合宿」です。この合宿で、問題を話し合ったり進捗状況を確認し合うなど、競い合い、高め合える最高の仲間と出会うことができました。コロナ禍のため日帰りの開催になりましたが、試験本番に向けてみんなで士気を高めることができ、面接練習でももらったアドバイスは試験本番でも役立ちました。仲間がいたから最後まで

で目標を見失うことなく頑張ることができたのだと思います。

卒業後は、地域の安全をしっかりと支える地域密着型の消防士になりたいと思っています。体が資本の消防士として健康を維持していくためにも、スポーツ経営学科で学んだスポーツ医学や生理学、スポーツ栄養学などを日々の暮らしと仕事に活かしていきたいと思っています。

成長のチャンス
最大限に活かして
活躍の場を世界に拡大!

曾利 哲大さん
2022年3月経営学科卒業
広島県/広陵高校出身

アメリカのマーケティングの学びと経験をさらに深めたいと思い、3年次には海外インターンシップにも挑戦！アメリカで事業を展開する日本企業で営業に同行し、日本と

タインシップ先で出会った同世代の留学生は、将来のビジョンを明確に持っている人がたくさんいました。彼らとの出会いが自分の将来の視野を広げる力になり、海外で働きたいと本気で考えるきっかけにもなりました。

卒業後は、海外でも事業を展開する製薬会社に就職します。大学で磨いた「挑戦し続ける力」を仕事にも活かしたいと思っています。

卒業後は、海外でも事業を展開する製薬会社に就職します。大学で磨いた「挑戦し続ける力」を仕事にも活かしたいと思っています。

卒業後は、海外でも事業を展開する製薬会社に就職します。大学で磨いた「挑戦し続ける力」を仕事にも活かしたいと思っています。

仲間と協力して
最後までやり遂げる
経験が自信に。

佐藤 真梨子さん
2022年3月経営学科卒業
岡山県/総社高校出身

学生が主体的に学び、社会貢献ができる興動館プロジェクトに魅力を感じ、4年間を通して「カンボジア国際交流プロジェクト」の活動に力を注ぎました。紛争からの復興途上にあるカンボジアの子どもたちが夢や希望を与え、笑顔になつてもらい、自国の復興の志を持つてもらうことを目指して、広島県の戦後からの復興プロセスをまとめた「副読本」を制作し、現地の小学校で授業を実施しました。

実際にカンボジアに渡航し、現地の方々が何を必要としているのか、教育に何が足りないかなどの情報を収集していくなかで、仲間とともに実現する

「子どもたちの主体的な学び」の必要性を感じました。そこで、子どもたちが自ら工夫して課題解決ができる力を育成するための新しい副読本を作りました。

コンセプトをゼロから考えて制作する経験は初めてだったので、とても苦労しましたが、仲間と協力して納得のいくものを作り上げることができました。みんなで知識を交換し合うなかで、一人では見つけられなかった新しいアイデアを発見できる楽しさを実感。「難しいから諦めよう」ではな

ための方法を考え、最後までやり遂げた経験は、大きな自信になりました。

こうした取り組みのなかで、目標までの道のりを計画する力、課題解決のための発想力、リーダーとしての仲間にも働きかける力や傾聴力が鍛えられました。

卒業後は、家づくりを通して地域と人々の幸せに貢献する住宅メーカーに就職します。お客様のニーズに耳を傾け、理想の家を実現していく方法を提案する仕事に、大学での経験を活かしていきたいと思っています。





CMの撮影現場

メディアビジネス学科の学生たちが、株式会社ロジックのテレビCMを株式会社の協力のもと制作した。こ

コロナ禍
での
学生生活

私はこれに熱中した!!

I was crazy about this!!

(学年は取材当時のもの)



田村亮汰さん
(経済学科3年・山口県/山口県鴻城高校出身)

全国大会への出場が決まっていたが、大会が中止に。目標を見失ったり、モチベーションが下がったりした部員たちへ積極的に声をかけてラケットを振り続けた! 来年度以降の試合に向けて、良い成績を残し、支えてくれる方たちに強くなることで恩返しをしたい!



学生FDプロジェクト

全国学生FDサミットが3年連続で開催中止となり、前回の開催から長期間経過したこと、薄れつつある他大学との「つながり」を取り戻し、情報交換・交流をするためオンライン交流会を企画。学生FDプロジェクト活動の未来につながるイベントを開催!



石津遼太さん
(経済学科1年・山口県/徳山高校出身)

週刊経済誌「広島経済レポート」を発行する広島経済研究所主催の懸賞論文「10年後の広島の自動車産業のあるべき姿」を執筆し、学生の部で3位に入賞! 時間を有効に活用し、今後さまざまなことにチャレンジしていきたい!

メディアビジネス学科の企画に取り組んだ学生15名は、ロジックでの取材、見学を通して企業の形態や想いを学ぶなかでニーズを探り、複数チームに分かれて絵コンテを提案。コンペ形式で1つに絞り込まれたストーリーをテレビ新広島指導のもと形にした。制作に関わった城下篤志さん(取材当時、メディアビジネス学科2年・愛媛県/松山商業高校出身)は「事前に企業情報の収集から、撮影現場での画角の決め方など、CMを形にするまでの



商品の説明や制作過程を説明する学生

難しさを実際に知ることができました。今後は企業のPRを目的としたCM制作にも挑戦したいです」と今後に向けて意欲を語った。制作されたテレビCMは、2月14日からTSS「めざましテレビ」内で放送中。



スポーツによる地域活性化プロジェクト

例年実施していた「トップス広島感謝祭」。コロナの影響で開催できないなか、何か別の形で広島の方に感謝を伝えることができないかとトップス広島の動画を企画・制作。既成概念にとらわれるのではなく、新しい形を模索したことで柔軟性と思考力が鍛えられた!



高松末輝さん
(スポーツ経営学科3年・岡山県/明誠学院高校出身)

プロスポーツクラブで働きたいという思いをゼミの先生に相談したところ、英語ができないと難しい世界だよと言われ、一念発起して英語力強化を決意。海外のスポーツやドラマを見て、ヒアリングの力をつけ、TOEICが730点に。これからも努力あるのみ!



樽谷光樹さん
(経営学科3年・広島県/広島工業大学高校出身)

思い描いていた100%の活動はできなかったけど、立ち止まらず自分自身と向き合う時間になった。ダンスに対する色々な人の考えに触れ、自分の足りないところを見つめ直し、追求したことで認定ダンス指導員の資格を取得。唯一無二のインストラクターを目指す!



取材を行った学生たち

メディアビジネス学科の学生が制作したドキュメンタリー作品「黒い雨から76



盾を手にする
森口雄大さん

2021年度日本学生野球協会表彰選手に、硬式野球部の森口雄大さん(スポーツ経営学科4年・島根県/大社高校出身)が選ば

日本学生野球協会
表彰選手
(学年は表彰当時のもの)

れた。記念の盾を手に森口さんは「キャプテンとして大人数の選手たちをまとめていくことに苦戦しましたが、最後にこのような賞をいただき大変嬉しく思います。副キャプテンをはじめ、支えてくれた仲間や島根県からいつも応援に駆けつけてくれた家族に感謝し、4月から新たな環境で頑張りたいと思います」と笑顔で語った。本学からの表彰選手は2年連続13人目。



表彰盾を持つ4名の受賞者

公益財団法人日本サッカー協会100周年表彰において、本学教職員4名が

本学教職員4名が日本サッカー協会(JFA) 100周年表彰を受賞



動画撮影中の1コマ



江口さんが参加した大邱大学校主催の交流会

準備していく。

第55期 学友会役員
会長 白井桜子(副会長) 富田創生(副会長)
森川末悠(財務部長) 田中友登(書記部長) 上田泰成(厚生部長) 中本達香(情報部長) 日谷凌(体育局長) 稲村崇(文化局長) 植田貴哉(大学祭実行委員長) 原田萌愛

サークル戦績



全日本モルック学生大会決勝トーナメントの様子

長期語学留学に学生が出発

2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響で、交換留学生の受け入れや本学学生の留学機会は停滞していたが、2年ぶりに韓国の姉妹校(大邱大学校)での長期語学留学プログラ

へつなぐ「ドキュメンタリー制作への思い」と題して学生たちが講義を行うなど、作品が多くの方の考えをきつかけになっている。同学科からの入賞は、2019年から4年連続となる。

2022年度 入学試験結果

■ 2022年度総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、共通テスト利用選抜、入学試験結果報告

入試制度	募集人員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (A) (人)	合格者数 (B) (人)	競争率 (A/B)
総合型選抜	20	39	39	10	3.9
学校推薦型選抜	340	959	959	848	1.1
一般選抜	1期	280	1,357	1,327	2.1
	2期	55	281	274	1.3
共通テスト 利用選抜	1期	110	750	750	1.3
	2期	35	75	47	1.6
計	850	3,521	3,484	2,343	

オープンキャンパス2022情報



オープンキャンパス2022を開催します。模擬授業や個別相談などさまざまなプログラムを用意して皆さまをお待ちしております。

※変更、延期、中止する場合があります。オフィシャルサイトでご確認ください。

6/12(日)・7/23(土)
7/24(日)・8/21(日)

事前申込制

中四国、県内遠方からは
無料送迎バスを運行します(要予約)

〈問い合わせ先〉入試広報センター TEL.082-871-1313

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第44巻 第3号 (2022年3月)

【論説】

内示プロセスにおける予測に関する基礎的解析
—内示情報を用いた予測性能の実証解析—

上野 信行(名誉教授) 得津 康義(教授) 中川 栄治(名誉教授) 楊 義中(教授) 杉山 克典(准教授)

行政手続における申請の審査・応答のあり方
—消費税法における課税売上割合に準ずる割合の承認申請を題材に—

福田 正太郎(准教授)

経済研究論集 第44巻 総目次

◆広島経済大学研究論集 第44巻 第3号 (2022年3月)

岡本貞雄教授 退任記念号

岡本貞雄教授 写真・略歴・業績
岡本貞雄先生のご退任に よせて
岡本貞雄先生のご退任に よせて

濱田 敏彦(教授) 安達 裕 (広島県教育委員会・指導主事(岡本貞雄ゼミ8期生))

【論説】

ラグビーとイギリス資本主義
—スポーツと歴史・社会—

内海 和雄(名誉教授)

The Advancement of International Education and Its Sustainability from the Perspective of Professionalism and Administrative Staff Development

George R. Harada(教授)

日本の相続法における遺産分割の方法に関する研究
—遺産分割の法的効力と分割の実行—

餅川 正雄(教授)

「暮らし」語りの変容
—「暮らしの手帖」をはじめとするライフスタイル雑誌の比較分析—

阿部 純(准教授)

他者理解を促進するためのWebアプリケーションの開発
—have toとmustの意味の検討—

Papafragouの関連性理論と可能世界意味論の融合の試み—

合田 優子(講師)

【資料】

Die Militärruinen um den Hauptbahnhof Hiroshima vor dem Zweiten Weltkrieg
—Begleitend zur Exkursion des Verkehrsknotenpunkts und der Nachschubbasis der Militärstadt—

第二次世界大戦前の広島駅周辺の軍事遺構
—軍都広島交通結節点および兵站拠点を
—実地見学するための手引き—

竹林 栄治(准教授)

研究論集 第44巻 総目次

学生の皆さんへ

「論集」には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

保護者様向けメールマガジン配信中
(通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから「保護者の方」をクリックしてください。



退任

〔令和4年3月31日付〕
理事・評議員
中尾 建三氏

就任

〔令和4年4月1日付〕
理事
中村 一朗氏

〔令和4年4月1日付〕
評議員
大上 正人氏

役職就任

〔令和4年1月17日付〕
教育職
「スポーツ経営学科主任」
林和夫

〔令和4年4月1日付〕
学務センター長 得津 康義

新任

〔令和4年4月1日付〕
教育職
教授 小笠 喜徳

〔令和4年3月31日付〕
教育職
教授 中村 克洋

異動

〔令和4年4月1日付〕
事務職
「総務部」高野修部長「学務センター」教務課 向井 岳司次長「キャリアセンター」友松修次長「教育学習支援センター」森川 覚課長「法人部」堰楽典 子係長

退任

〔令和4年3月31日付〕
教授 中村 克洋

退任

〔令和4年3月31日付〕
理事・評議員
中尾 建三氏

就任

〔令和4年4月1日付〕
理事
中村 一朗氏

〔令和4年4月1日付〕
評議員
大上 正人氏

役職就任

〔令和4年1月17日付〕
教育職
「スポーツ経営学科主任」
林和夫

〔令和4年4月1日付〕
学務センター長 得津 康義

新任

〔令和4年4月1日付〕
教育職
教授 小笠 喜徳

〔令和4年3月31日付〕
教育職
教授 中村 克洋

異動

〔令和4年4月1日付〕
事務職
「総務部」高野修部長「学務センター」教務課 向井 岳司次長「キャリアセンター」友松修次長「教育学習支援センター」森川 覚課長「法人部」堰楽典 子係長

退任

〔令和4年3月31日付〕
教授 中村 克洋

2021年度 学生懸賞論文審査結果
(学年は表彰当時のもの)

1月13日、学生懸賞論文各賞の授与式が行われた。本学の学生懸賞論文は論文作成のプロセスにおいて技法の会得や教員とのコミュニケーションを図るなど、人間形成の場となるように企画されている。審査結果は以下のとおり。

▽最優秀賞(1編)
横山愛(ビジネス情報学科4年)

【論文題目】Elicitを利用

渡部詩音(ビジネス情報学科3年)

【論文題目】「ドラクエっぽい曲」とは何か「ドラゴンクエスト」BGMの既視感に関する考察(指導教員 久保大支)

▽奨励賞(8編)
福永瑞歩(経営学科3年)

【論文題目】ネガティブなeコマと消費者の自信度に関する実証研究(指導教員 二つの側面と購買意欲)

優秀賞受賞者

兼森湧佑(ビジネス情報学科4年)

【論文題目】レビューを利用した動画配信サービスの特微分析(指導教員 石野重耶)

心対象の分析(指導教員 石野重耶)

▽優秀賞(2編)
下支え効果(指導教員 細井謙一)

西野紗也加(経営学科3年)

【論文題目】成功事例から見る「たまゆら」の長期的なコンテンツリズム失敗要因(指導教員 細井謙一)

中田結衣(経営学科3年)

【論文題目】「コトからモノ」への回帰はなぜ若者では生じないのか(指導教員 細井謙一)

厚東夏実(経営学科3年)

【論文題目】コロナ禍における消費者の購買行動

2021年度 後期資格・能力等表彰者
(学年は表彰当時のもの)

信本祐輝(経済学科2年)

▽学部長表彰者

●TOEIC(700点以上) 中脇大就(経営学科3年、高松未輝)

(スポーツ経営学科3年、HASAN MD SABBIR(経営学科1年))

●TOEIC(600点以上) 有馬誠次朗(経営学科3年、MAIHUONG LINH(メディアビジネス学科4年))

●宅地建物取引士 森保大地(経営学科4年)

学長表彰者

●TOEIC(700点以上) 中脇大就(経営学科3年、高松未輝)

(スポーツ経営学科3年、HASAN MD SABBIR(経営学科1年))

●TOEIC(600点以上) 有馬誠次朗(経営学科3年、MAIHUONG LINH(メディアビジネス学科4年))

●宅地建物取引士 森保大地(経営学科4年)

奨励賞受賞者

上村榛菜(経営学科3年)

【論文題目】電子書籍市場が成長し続けている要因(指導教員 細井謙一)

【論文題目】電子書籍市場が成長し続けている要因(指導教員 細井謙一)

上村榛菜(経営学科3年)

【論文題目】電子書籍市場が成長し続けている要因(指導教員 細井謙一)

【論文題目】電子書籍市場が成長し続けている要因(指導教員 細井謙一)

学部長表彰者

●TOEIC(700点以上) 中脇大就(経営学科3年、高松未輝)

(スポーツ経営学科3年、HASAN MD SABBIR(経営学科1年))

●TOEIC(600点以上) 有馬誠次朗(経営学科3年、MAIHUONG LINH(メディアビジネス学科4年))

●宅地建物取引士 森保大地(経営学科4年)

本学図書館
所蔵書物紹介コーナー

知の系譜 No.53

ウィルバー・ライト「滑空飛行の実験と観察」
初版 1903年 シカゴ刊 Wilbur, Wright, 1867-1912.
Experiments and observations in soaring flight. Printed in advance of the Journal of Western Society of Engineers, Vol.3, no.4. August, 1903.
[s.l.][s.n.], 1903.

ライト兄弟が世界で初めてエンジン付飛行機「フライヤー号」の飛行実験に成功したのは1903年12月17日のことである。本書は、1902年に成功したグライダーによる飛行実験の成果をまとめた論文で、これによって彼らはエンジン付飛行機の完成を確信した。飛行機の開発はライト兄弟が以前から世界中で行われ、熱気球や飛行船、気流に乗って飛ぶグライダーなど、いくつかの挑戦がされてきた。彼らが研究を始めた頃には先人の知識や技術があり、誰が一番にエンジン付飛行機を発明してもおかしくない時代になっていた。

航空学の専門家ではなく、アメリカ・オハイオ州で自転車業を営んでいたライト兄弟が最初に成功した理由は、それまで見過ごされていた操縦性に着目したことが大きい。自転車と同じように、飛行機にも操縦技術が必要だと考えた彼らは、鳥の飛行を観察し、機体で翼と同様の動きを実現するべく、グライダーでの研究を重ねた。

本書はその膨大な実験と観察を記録した報告書で、フライヤー号が完成する直前に兄のウィルバーによってまとめられた。本学が所蔵しているものは、航空学の専門誌に掲載される前に印刷された貴重な抜き刷り版で、弟・オーヴィルの旧蔵書である。